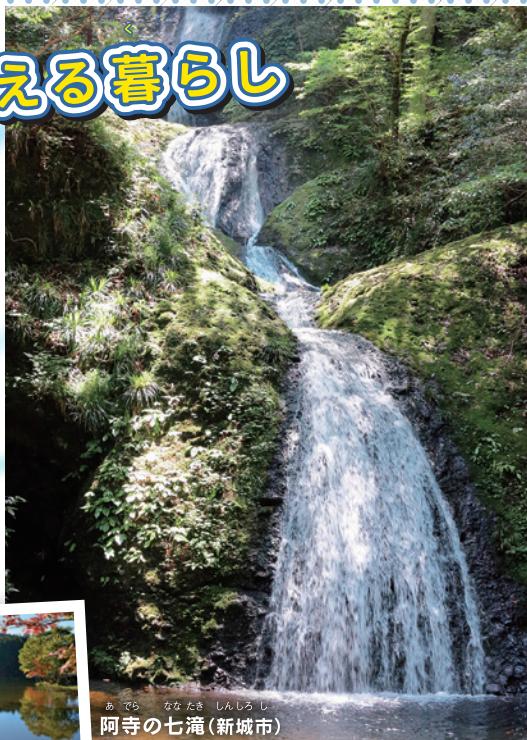


奥三河の水が支える暮らし

ひがしのみかわだいひょうかわとよがわしたら
東三河を代表する川である豊川は、設楽
ちょうだんどさんすいげんしんしろしとよかわ
町の段戸山を水源として、新城市、豊川
しとよはしどながみかわわんそそ
市、豊橋市を流れ、三河湾に注いでいま
す。豊川の流れは、周囲の山々とともに奥
みかわうつくけいかんづくだおくみかわ
三河の美しい景観を創り出し、奥三河を
ひがしのみかわおいしきざいはぐく
はじめ東三河の美味しい食材を育んでい
ます。また、豊川本川や支川である宇連川
しすいほうふみずたはらしがま
から取水される豊富な水は、田原市や蒲
ごおりしけんここさいしりゅういきいがい
郡市、県を越えて湖西市など、流域以外
すいろうはこのうぎょう
にも水路で運ばれ、農業や
こうぎょうさまさまさんぎょうぶん
工業など、様々な産業の分
やかつよう
野で活用されています。



あでらなななしあ寺の七滝(新城市)

つたふちとうえいとう
薦の淵(東栄町)



いつぼうとよねむらどうえいちょうながのけんやつがたけ
一方、豊根村と東栄町は、長野県の八ヶ岳を
すいげんてんりゆうがわしせんながりういき
水源とする天竜川とその支川が流れる流域
しんとよねさくま
になります。新豊根ダムや佐久間ダムは、地
いきくさんざさされきし
域の暮らしと産業を支えてきた歴史あるダム
おくみかわでんどうまつ
です。また、奥三河伝統の祭りである花祭は、
てんりゆうがわしゆうへんけさんかんぶはつてん
この天竜川周辺の険しい山間部で発展して
とよがわすいいせきがけいかんぶんか
きました。豊川水系とはまた違った景観、文化
みかわみりく
を見ることができるのも、奥三河の魅力です。

清流が育む 奥三河グルメ!

ぜんごくちゅうもくおくみかわ
全国から注目される奥三河
もおいあず
ルメも盛りだくさん! 美味しい水
おいしくさいそだ
は美味しい食材を育てます。

しじらうおいみず
設楽町の美味しい水と
こめづくほんじゆ
米で作る日本酒



日本酒

にほんいち
コンテストで日本一に
とうえいちょうあゆ
なったこともある東栄町の鮎!

振草川の鮎



ロイヤルキャビア

とよねむらようしょく
豊根村で養殖される
たまごチョウザメの卵



水源が支える下流域の農業

みわたかぎいちめんばたけひろいき
見渡す限り一面にキャベツ畑が広がり、勢
いよく回るスプリンクラーから噴出する水が
のうちうおほんゆうすうのうとうおうごくとよ
農地を潤す。日本有数の農業王国である豊
はなしたはらしみなこうけい
橋市や田原市では見慣れた光景ですが、
いまねんいじょうえいいまのうぎょうさか
今から50年以上前までは、今ほど農業が盛
ちいきとくたはらし
んな地域ではありませんでした。特に田原市
あつみはんどうまいどしみずぶく
のある渥美半島は毎年のように水不足に
なやみずすくそだ
悩まされ、水が少なくて育つサツマイモや
こむぎかぼさくもつへく
小麦などの限られた作物しか作ることができ
ない地域でした。



豊川用水が支える農業王国

ねんしんしろしあつみはんどう
しかし、1968年に、新城市から渥美半島の
せんたんむすやく牛馬水路およとよがわようすい
先端までを結ぶ、約82kmに亘る豊川用水
かんせいげきてきへんかおよう
が完成すると、劇的な変化が起ります。用
すいろあんていほうふりょうみずりよう
水路から安定して豊富な量の水を利用する

ことができるようになり、キャベツやトマト、メロンなど多様な野菜や果物を栽培することが
可能に。農業の規模を測る、2019年の農
ぎょうさんしょくくちょうさたはらしおく
業産出額の調査では、田原市は824.7億
えんせんごといきばほこはってん
円で全国2位という規模を誇るまでに発展し
ました。それを支えているのは豊川用水の豊
ふみずみずおくみかわすいげん
富な水であり、その水は奥三河の水源から
ながでいつてきはじ
流れ出る一滴から始まっているのです。

豊川水系の新しいダム 設楽ダム建設事業

2034年度の完成を目指して建設が進められて
いる設楽ダム。洪水への備えと、水道や農業に
利用する水を安定して提供することなどを目的
としています。

